

ICT 通信

文責 田淵
R5. 9. 6
No. 5

ゲストティーチャーを活用したリモート授業

昨年度の Microsoft Teams 導入を機に、ICT 環境の整備が急速に進んだ利尻中学校。これまで、多様な形態でゲストティーチャーを活用し教育活動を行ってきました。今回の ICT 通信では、令和 5 年度前期に行われた、リモート授業や実験の様子を紹介します。

活動名	教科・行事	対象	場所	授業形態	内容
ネット安全教室	行事	全学年	ホール	講義・動画視聴・意見交換	ネット上で起こりうるトラブル、マナーの理解
イタリア語 ナポリ民謡	音楽	3 年	音楽室	イタリア人ゲストティーチャーの講義・合唱	イタリア紹介、イタリア語会話、ナポリ民謡の歌詞理解
消費者教育	家庭科	2 年	教室	講義・クイズ	消費者トラブルの理解
着色料抽出実験	家庭科	1 年	家庭科室	実験・講義	食品添加物に関する講義とお菓子の着色料抽出実験



全学年対象「ネット安全教室」

5 月上旬、KDDI の認定講師による全学年対象とした講義をホールで行いました。

ネット安全教室では、生徒が SNS を利用する際のルールやマナー、インターネットにかかわるトラブルの事例を知り、自らの判断でリスクを回避する能力を身に付けることを目指しています。

2 年家庭科「消費者教育」

7 月下旬、2 年生を対象とした、消費者トラブルの現状と未然防止をテーマにした講座を行いました。ゲストティーチャーとして、北海道消費者協会の講師を招きました。2 年生は、家庭科で学んだ知識とつなげながら、身近な消費者トラブルについて考えることができました。



1 年生家庭科 リモート×着色料抽出実験

家庭科の栄養に関わる授業が終盤を迎えた 8 月下旬。北海道立消費生活センター & 北海道消費者協会の講師が実験と講義を行いました。学習のテーマは「実験を通し、菓子やジュースに入っている着色料について考えよう」。着色料実験の成功のカギは、「一人ひとり、集中して講師の指示を聴き、理解すること」「グループで協力すること」の2つです。

1 年生は、グループごとに協力しながら、チョコや粉末ジュースで使用されている着色料を羊毛に移しとることができました。着色料抽出実験を通し、食品添加物の 1 つである合成着色料・天然着色料の性質や安全性の理解へつなげていました。



校長先生がカメラとスピーカーを準備し、遠隔実験をサポート



天然着色料の溶液を酸性からアルカリ性へ（理科×家庭科）

3 年音楽 リモート×イタリア・ナポリ民謡「帰れソレントへ」

昨年度から音楽科の授業で協力いただいているイタリア人のゲストティーチャー、ラウラ先生による「帰れソレントへ」のオンライン授業。今年度は 5 月に実施しました。1 回目は簡単な自己紹介やイタリアについての講義、2 回目は簡単なイタリア語会話練習、3 回目は帰れソレントの歌詞朗読と意味の理解へと進みました。

はじめは慣れないイタリア語でしたが、後半になるとずいぶんイタリア語らしくナポリ民謡カンツォーネを歌うことができました。授業が終わると生徒の感想を共有。ラウラ先生も「利尻中学校 3 年生と出会え、うれしい。楽しかった。イタリア語に親しんでくれてよかった。」とおっしゃっていました。



イタリア・ヴェネツィア出身のラウラ先生。（神戸市在住）
3 年生との交流を楽しんでいる様子



簡単イタリア語会話
日常よく使われるイタリア語に耳で慣れていく